

たぐすい

TAKUSUI

11

2003年 November

No.565

ourhour
フリースペース
ア70ア7

<水産課>

水産資源の持続的利用・漁業の担い手の育成

ウチの漁協! JF明石浦



CONTENTS

- 2 旬に想う
捨てること
ほっとするフォトセラピー
みのりの秋のシンボル「花紅葉」
- 3 WTO情報
WTO閣僚会議決裂でFTA交渉加速!
- 4 フリースペース our hour
水産資源の持続的利用・漁業の担い手の育成
- 6 研修事業の問題点について
- 7 「水産技術センターエントランス」リニューアルオープン!
- 8 情報伝言板・お知らせ・船の豆知識
- 9 TOPICS
行事予定・各地のおもなイベント情報・
但馬地区5支店の統括化がスタート
- 10 兵庫JCC通信
- 11 ホントに知ってる?こっそり覚えよう! 兵庫のさかな
カレイ
こちら海です
- 12 ウチの漁協

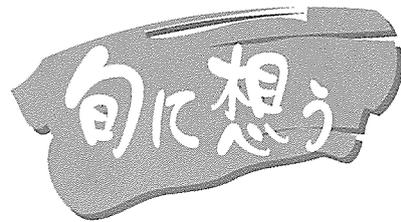
ヒコ旗谷のPHOTO ESSAY
ほっとするフォトセラピー

今月の表紙：みのりの秋のシンボル「花紅葉」
(兵庫県・六甲山にて)

秋が深まり、紅葉前線が北から南へと移動を始めると、日本列島は秋色模様になっていきます。ところが、毎年、美しい紅葉が見られるとは限りません。その年の気象条件次第です。温度、光、湿度の3つの条件が、紅葉の素・アントシアン色素の合成に深くかかわっているのです。一般に、日中は温暖で夜間急激に冷え込むと美しい紅葉が見られます。深山、溪谷での紅葉がひととき鮮やかなのはそのためです。ここ六甲山系も、松や杉の緑の中に真っ赤なカエデがコントラストよく目立ちます。紅葉の代表は、カエデ科の中でもイロハモミジにつきますでしょう。葉は小型でノコギリ状に裂け、赤ちゃんの手を広げたような可愛い形。そして鮮やかな赤色。アップによし、離れて見てよし、池の水面に映る姿にも風情がありますね。

いにしへの昔から「紅葉刈り」と称し、紅葉の美しさを觀賞に出かけ、幾多の歌に詠まれたり、その紋様が美術工芸品のモチーフになっています。「花紅葉」の言葉があるように、みのりの秋は、もみじを最終のシンボルとしてきました。日本人の自然への郷愁と惜別の思いがよみとれますね。

秋深し 燃えるモミジに 手をかざす



写真と文 遊方子



捨てること

◆木々の葉が赤や黄に色付くのは冬支度のためである。葉柄の基部に、離層が出来て養分の流れが遮断されると、蓄積していた糖質がアントシアンなどの色素を形成し、葉は赤や黄に染められる。最も美しく紅葉するのはカエデ科の植物で「もみじ」という言葉が、カエデ類の総称になっている。神社仏閣に多いイチヨウは黄葉する代表樹のような存在だが、スックと伸びた樹形が黄金色に輝く姿は、深まる秋の象徴といえる。中国で鴨脚樹(ヤブチャオ)と呼ばれ、これが転嫁してイチヨウになったという。離層が物質の流れを止め、発色した葉は次々と枝を離れて散ってゆく。休眠するには葉っぱは不要とサラリと捨て去るが、実に優雅な整理の仕方だと見惚れてしまう。

◆PR誌や新聞の切り抜きが、いつの間にか溜まってしまいが、資料にするなら整頓すべきなのに、何故か出来なまま山積みになる。思い切つて捨ててしまえば、サッパリとするのに「捨てて下手」なのである。机上をいつもスッキリさせている人を、実に捨て上手な人だと羨ましく思っている。溢れるような物品に囲まれ、生活空間を狭くして暮らすよりも、身辺を片付けたらどんなにか気持ち良く暮らせるだろうと思う時がある。自分の周辺を見回して、不要な物が随分とある。実際に、人の暮らしにはどれだけの物が必要なのだろう。究極の整理法は「捨てること」だといえるが、それは品物への執着を断つことである。愛着ある品を手放す時、整理下手な者は概ね決断に手間取り、何時までも愚図愚図と手をつけられずにいる。

◆明治生まれの祖母は捨てることを好まぬ人で、どう見ても二

度と使わぬだろう物を、後生大事と物置きに詰め込んでいた。別の見方では、道具類を粗略にしない人といえた。どんな品物でも、修理に出したり自分で修繕すれば寿命を延ばすことが出来る。そして捨てる物は極端に少なくなる。そうした気風は、現代人に欠落しているのじゃなかろうか。粗大ゴミ収集日の前日。集積場所に家具や電化製品が山積みになる。夕暮れに何台かのトラックが来て、ゴミ山を漁り、殆どの電化製品を持ち去る。それは趣味や道楽ではなく、修理したり必要部品を採って再生利用のためという。リサイクル活動のように思うが、まるで「忍びの者」の雰囲気を感じさせている。これは悪事なのだろうか。

◆家電四品目が法律でリサイクルを義務づけられた。購入段階で処理費用の前払いをする。先日、冷えなくなった冷蔵庫を買って替える事にしたが、廃棄費用を前払いする段階で、何だか壊れている不良品を買うような妙な気持ちになった。色即是空…。何日か後、家電リサイクル工場を見学した。ここでは統々と持ち込まれるエアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機が解体され、再生部品と廃棄部分に分けられていた。先端技術を凝縮した電化製品を細く分別し、元の部分品へと変えてしまう。断末魔の響きと、臭気に噓せるような処理場であったが、実に見事な仕組みだと感心した。どの自治体でも、不燃物最終処分地が、概ね数年で満杯になる。そのため暮らしたムダを減らし、ゴミを少なくしたいと必死に取り組んでいる。使い捨てにしたゴミたちのしつこい返しの、暮らしたリズムは正に、もっと拍車を掛けなければならぬ。

WTO 閣僚会議決裂でFTA交渉加速!

既報の通り、去る九月メキシコ・カンクンで開かれたWTO（世界貿易機関）の新多角的貿易交渉（新ラウンド）は共同宣言採択に至らず、機能不全に陥った。この背景にはグローバル化と言っても途上国には期待したほどの果実が落ちてこない。先進国は「自由貿易促進」を口にしたが、自国の農業保護を温存し、事実上、途上国の農産品を締め出しているとして、欧米中心の進め方に途上国の不満が爆発したものの。

一方、WTO閣僚会議決裂で二国間や特定地域間で貿易協定の内容を柔軟に決められるFTA（自由貿易協定）を推進しようとする現実路線が加速している。

先月二十一日閉幕したアジア太平洋経済協力会議（APEC）でも多国間の利害を調整するWTOを尊重しつつ、APECが掲げる「ヒト・モノ・カネの移動を自由化する経済共同体構想」の二〇二〇年実現は風前のともしびとの懸念も出てきて、二国間交渉で短時間に成果が得られ易いFTAに自国利益優先を求めはじめた。

先に、東南アジア諸国連合（ASEAN）と東南アジア友好協力条約に調印した中国も、今後のFTA交渉を優位に進めアジア経済の主導権を握ろうとの思惑がみられ、ASEAN諸国にも、今、人口十三億という巨大市場を目の前に「ODAよりFTAに」と中国に急接近する動きもある。かつて、冷戦時代に反共、脅威としてきた中国に期待を高める。

我が国は、FTAで世界に大きく出遅れており、農産品問題がないシンガポール一國のみの締結にとどまっている。

ASEANで中国に遅れをとった政府は、アジアで加速する経済のボーダーレス化の流れに乗り遅れまいとして、メキシコ・韓国と具体的協議を進めている。又、本年中にタイ、フィリピン、マレーシアの三ヶ国ともFTAの政府間交渉開始で合意をめざしている。

新聞等で報道されている通り、メキシコとは大詰めを迎えているが対日輸出額の四十七%を占める豚肉の関税引き下げをめぐり、難航している。又、日韓首脳会談ではFTA交渉を年内に

開始し、二〇〇五年中の実質合意を目指す方針で一致している。日韓FTAが実現すれば、人口一億七千万人、国内総生産（GDP）約五百十兆円の巨大市場が誕生することになる。ただ、個別分野ではそれぞれ国内事情を抱えており、容易ではない。韓国内では電機や自動車など基幹産業への影響懸念や、日本国内でも韓国の水産物や石油化学製品の価格競争力が高まるとの反発もある。韓国の水産物の対日輸出額は約千九百十八億円。うちカツオ・マグロ類で三百二十億円、カキ九十四億円をはじめ多種に及び我々漁業団体もこれ以上の自由化には絶対反対を表明している。

政府のFTA政策はあせりすら感じられるが、現在、アジア諸国は対日本市場の開放を強く求めている。また、WTOで水産物貿易交渉は農業とは別に「非農産品市場アクセス」グループとして、鉱工業製品など原則関税撤廃の分野で協議されるという流れがあるなか、今後、WTOあるいはFTA交渉で鉱工業製品交渉が優先され、水産物を妥協譲歩の「いけにえ」にされる

ことのないよう厳しい監視が必要となる。いずれにしても我々漁業者は、自由化・国際競争力に対応して漁業の経営構造改革に取り組むとともに、漁業の持続的発展に英智を尽くし、「食料供給の重要な担い手」として、また「漁業の多面的機能を発揮」という期待される役割を果たし、社会経済の発展に貢献する努力が求められる。

（漁連・JFグループひょうご）企画調整室・WTO対策検討チーム（吉田）

水産資源の持続的利用

施策目標

水産資源の管理体制の強化、栽培漁業の推進、漁場の整備等を進め、水産資源の回復、持続的利用を実現し、漁家経営の安定を図るとともに、消費者へ安定した水産物の供給を行います。

サワラ、アカガレイ資源の回復に向けた取り組み

水産資源を持続的に利用するため、漁獲量が減少している魚種を特定し、操業期間や漁具の網目拡大等の規制、資源の増大対策、漁場環境の保全対策等を含めた資源回復計画を策定し、関係漁業者等が連携して資源の回復を図る資源回復計画制度を平成十三年度から始めています。

この制度に則り、瀬戸内海においては、漁獲量が激減しているサワラの資源回復計画を国が平成十四年四月に策定、公表し、各府県の関係漁業者が連携して休漁期間の設定、小型魚保護等の取り組みを進めています。

また、日本海においては、石川県から島根県までの日本海西部海域において、平成十四年九月にアカガレイ（ズワイガニ）の資源回復計画が策定、公



クルマエビの標識作業

表され、関係府県の底びき関係漁業者が保護区の設定、小型魚保護等の取り組みを進めています。

栽培漁業の推進

栽培漁業の効率的な実施を図るため、漁業協同組合等に対し、中間育成の集約化、適地への集中放流を指導しています。

平成十三年度からは、大阪湾において大阪府と共同でクルマエビ、マコガレイの標識放流を行い、放流効果、移動経路等を調べるために追跡調査を実施しています。さらに、平成十五年度からは、調査範囲を紀伊水道まで拡張し、和歌山県、徳島県とも連携してクルマエビの放流効果等を把握するため

標本船調査、市場調査等を実施しています。

重要魚種の稚魚放流の取り組み

日本海では香住町にある県但馬栽培漁業センターで、マダイ、ヒラメ、アワビ、サザエの種苗生産を行っています。特に、マダイ、ヒラメについては、中間育成経費を削減するとともに、自然界に適応できる野生的な種苗を育成するため、従来から実施している海上小割網方式ではなく、漁港、港湾内を活用した自然界と同じ環境での中間育成を行い種苗を放流しています。

瀬戸内海では、明石市二見町にある県栽培漁業センターにおいて、マダイ、ヒラメ、マコガレイ、オ

種苗放流実績

(単位：千尾)

魚種	平成12年度	平成13年度	平成14年度
マダイ	1,387	968	1,021
ヒラメ	1,305	1,292	1,299
マコガレイ	164	201	183
オニオコゼ	-	37	86
クルマエビ	8,126	6,903	6,328
ガザミ	3,675	4,144	3,834
アワビ	192	200	119
サザエ	149	103	143

ニオコゼの種苗生産を行っています。また、(財)ひょうご豊かな海づくり協会が、二見事業場でガザミ、津名事業場でクルマエビの種苗の生産を行っている他、神戸市(財)神戸みのりの公社)がヒラメ種苗を生産、放流しています。

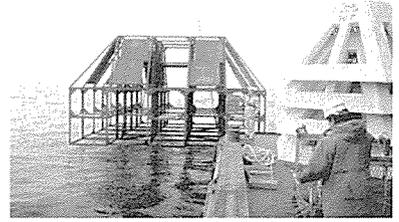
のり養殖経営の安定をめざして

平成十四年度から、「色落ち」の原因となる珪藻赤潮予報を漁業者に提供し、大規模な「色落ち」による被害を未然に防止することをめざして、兵庫県とJF兵庫漁連が一体となって、のり漁場環境予測モデルの構築等の珪藻赤潮予察技術の開発に取り組んでいます。また、珪藻赤潮予察技術の開発と合わせ、兵庫県、JF兵庫漁連等で組織する「のり養殖基本問題検討会」を設置し、のり養殖業の経営安定と持続可能な生産体制の確立をめざし、経営安定対策、漁場環境対策、漁場行使等について総合的な検討を行っています。

安定した漁獲をめざして

増殖場造成事業

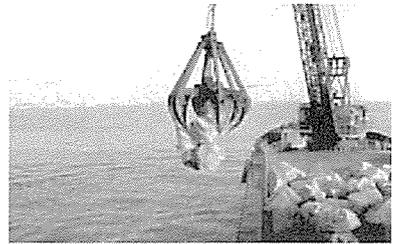
マダイ、カサゴ等の有用水産生物の資源増大を図るため、現在、柴山、浜坂、神戸、西淡、南淡の五地区で稚魚の育成礁や産卵親魚の保護礁を設置しています。



増殖礁の設置状況（南淡町沖）



魚礁の設置状況（西淡町沖）



投石による築いそ整備
（御津町新舞子沖）

魚礁設置事業

生産性の高い魚礁漁場の拡大を図るため、人工魚礁を設置しています。平成十四年度には、小規模な魚礁として豊岡、播磨、家島、洲本、淡路の五地区、中規模な魚礁として香住、竹野、淡路、西淡の四地区を整備しました。また、家島地区で大規模な魚礁漁場の

造成事業を実施中です。

築いそ事業

マダコ等の定着性の水産動植物の増産を図るため、自然石の投入によって漁場を改良しています。平成十四年度には、明石、姫路、家島、御津、洲本、南淡の六地区で築いそ事業を実施しました。

漁業の担い手の育成

施策目標

漁業就業者の確保を図るとともに、新しい時代に対応しうる、広い視野と経営感覚を持った意欲と能力ある漁業者を育成します。また、経営体による協力的な取り組みを支援します。

青壮年部・婦人部活動の活性化

水産資源を管理しながら持続的な利用を図る資源管理型漁業では、単に獲るだけでなく、その思想を十分に理解し、関係漁業者が協調しながら話し合い、資源量に見合った適切な漁獲を行うことが必要です。そこで、漁協青壮年部や婦人部活動を活性化し、研修等各種事業を通じて、新しい時代に対応

できる広い視野と経営感覚を持った意欲と能力のある漁業者の育成に取り組んでいます。

また、平成十一年度からは、環境保全に向けた第一歩として、森を育て次世代に豊かな漁場を引き継ぐために、青壮年部・婦人部主催の「漁業者による植樹活動」を実施しています。



漁業者による植樹活動

漁業生産の担い手 育成事業の実施

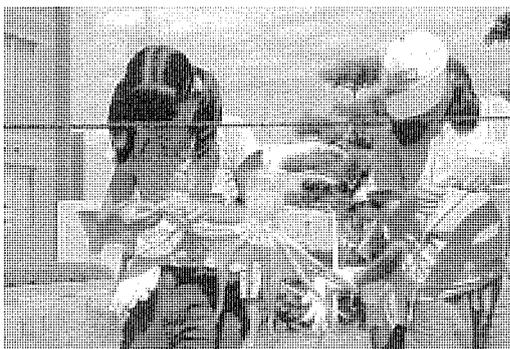
活力ある漁村社会の形成を図り、産業として自立した漁業経営の確立をめざす若い意欲ある人材を育成するため、青年漁業者活動協議会を組織して、漁業士研修事業や学習事業、技術交流事業等を実施しています。

中核的漁業者協業体の育成

意欲と能力のある経営体による協業的な取り組みを支援するため、県では平成十三年三月に「漁業の担い手の確保・育成に関する基本方針」を策定しました。これに基づき平成十四年六月に三件の中核的漁業者協業体漁業協同改善計画を認定し、水産業改良普及員が計画実施の指導にあたっています。

少年水産教室の実施

小・中学生を対象に、水産業への理解を深め、担い手の育成を図るため少年水産教室を実施しています。



水産技術センターでの少年水産教室

研修事業の問題点について

本県では、漁協の役員・職員を対象とした研修会は、漁連をはじめとした系統団体が行うことがほとんどです。その目的は、漁協運営、協同組合連動の担い手である役員に必要な知識や情報を伝え、適正な実務処理や漁協運営を行ってもらうためです。

研修会には大きく分けて二つのタイプがあり、一つはその時々々のタイムリーな話題や情報を広く皆さんに伝えるものと、もう一つは、研修参加者個人の能力アップを行うためのものです。これまで漁連が開催してきた研修会・講習会等は前者の研修会が中心でしたが、一方では後者の研修会を望む声もありました。このような中、十五年度からは後者に近い内容の実務研修へと実施方針を変更し、これにより開催したのが『JFグループ兵庫・新規採用職員等研修会』です。

この研修会は、JFグループの職員としての心構えと、それに必要な知識の習得により、漁協運動を実践できる職員の養成を図ることを目的とし、十月八日・九日の二日間、『漁業協同組合の運営』『水産業協同組合法について』『漁協事業と系統団体の事業について』

『今、漁協職員に何が求められているか』の四つのテーマにより、二十三名の参加者を得て開催しました。(十月九日は二十二名の参加)

研修会の参加対象者は「平成十四年度及び十五年度における県下JF及び漁協系統団体の新規採用職員」に加え、「担当業務の変更等の理由で本研修会の受講が適当であると認められる職員」としましたが、実際の参加者の年齢は十才代から五十才代まで年齢層が広がりました。これは、本県には事業実施形態、組合員数、職員数などが、小規模なJFから大規模なJFまで様々であり、また計画的な職員採用を行っていないJFがほとんどなため、対象を「新入職員等」としても、様々な「新入職員」となってしまうためです。講師の中からは「参加者の幅が広く話し辛い面

があった」、さらには「研修会自体の目的がボケてしまうのではないか」との意見があり、今後の課題となりました。

また、この誌面が発行される頃には終了してはいますが、役員対象の実務研修として理事・監事の職務、権限及び責任を主な内容としたJF監事研修会・JF理事研修会を開催します(十月二十八日・二十九日開催)。これの出欠状況を見ると、全体としては多数の出席者があるのですが、単協ごとでは半数を超える組合が欠席です。この要因は、研修テーマ、開催時期や場所、他の行事とのバッティング、役員・職員の意識の希薄などが予想されますが、推測の域を超えず、これも今後の大きな課題です。

冒頭に述べた能力アップのための研修の実施には多くの課題があります。

このような研修としては、例えば、商工会議所等で開催しているような形式のもので、募集定員を定め、詳しい研修内容や参加条件(資格)等を示したオープンな形の研修会を何パターンか開催することですが、残念ながら漁協系統では全体の対象者数が少ないため、

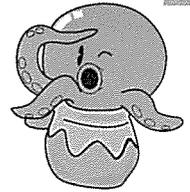


対象を限定すると、参加者数が極端に少なくなる可能性があります。また、ステップアップしていく研修では、内容、講師、時期等が重要となることは勿論ですが、JFの側にも少ない職員の中から特定の職員を毎回参加させることが可能かどうかといった問題もあります。

研修会は、主催者と参加者の思いが一致しないとその目的を達成することはできません。本会が行う研修事業をより効果のあるものにしていくため、皆様からのご意見をお待ちしています。
〈JFグループひょうご企画調整室〉

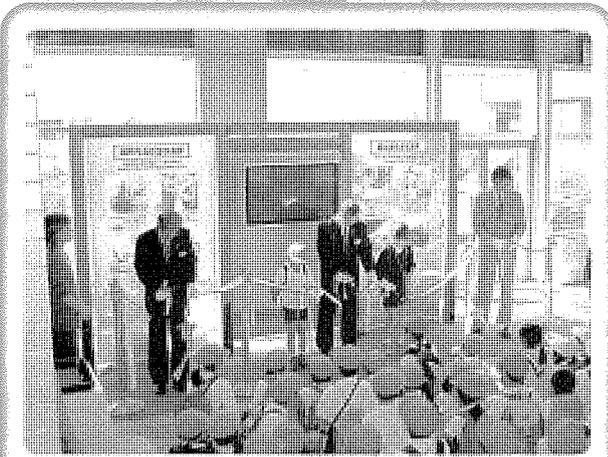


見やすく優しく展示一新



「水産技術センター エントランス」リニューアルオープン!

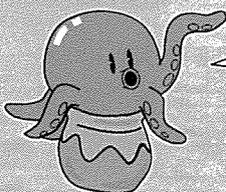
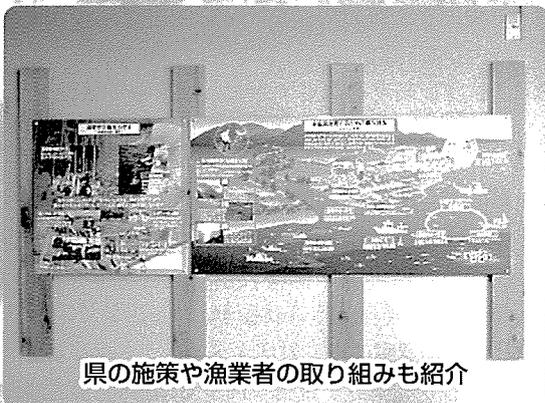
水産技術センターでは、小学校の校外学習などの見学者を年間5,000人以上受け入れていますが、この度、1階エントランスホールに、県内の水産業を分かりやすく説明する展示を新設しました。併せて、見学コースも一新。映像やパネル・写真をふんだんに使い、子どもにも親しみやすい内容になっています。一見の価値ありですので、是非当センターにお越し下さい。なお、どなたでも見学可能ですが、事前にご連絡下さい。土日祝日は閉庁です。



新設された展示スペース。映像をふんだんに使った解説が特徴です。10月9日にはオープニングセレモニーを行いました。



兵庫県の漁業を紹介するビデオを新調



僕ター坊
よろしくね

お問い合わせ先：水産技術センター 078-941-8601



ヒロ旗谷 写真展 「拓水」表紙掲載 ノーカットオリジナル

2003年1月号より「拓水」の表紙写真“ほっとするフォトセラピー”でおなじみのヒロ旗谷さんが、2003年12月1日(月)から15日(月)まで、クリエイト神戸ギャラリーにて写真展を開催します。

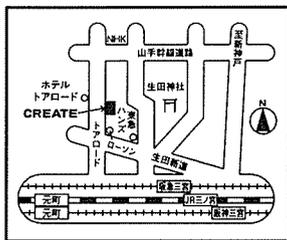
「拓水」表紙では構図の関係上掲載しきれなかった部分も、ノーカットでご覧いただけます。「拓水」及びフォトエッセイも併せて展示されます。

と き：2003年12月1日(月)▶▶15日(月)

日曜日及び13日(土)は休場
10:00～18:00 最終日16:00まで

ところ：クリエイト神戸ギャラリー

プロラボ CREATE 神戸営業所
神戸市中央区下山手通2-13-11
トアロードビル1F
TEL(078)333-9811



ヒロ・ハタタニ映像オフィス：〒653-0852 神戸市長田区山下町3-3-6 TEL&FAX.078-691-0770

船の豆知識

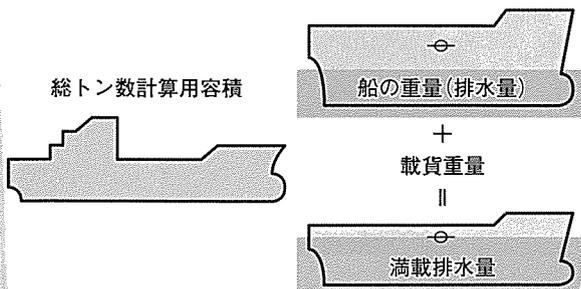
船の大きさ・重さ

船の大きさを表すものとして、総トン数〇〇トンとか、排水量〇〇トン、載貨重量〇〇トンというように「トン数」が用いられています。この「トン」という単位を表すことばは、15世紀にフランスからイギリスへ運ぶブドウ酒の大タルをいくつ積めるかを数える時に、棒でたたくとトンという音がしたところからきています。石油の量を表す「バーレル」もタルのことです。

総トン数(記号：GT)というのは、あくまで「大きさの指標」で、船の容積をもとに計算されたものです。ですから、重さを表すトンとは違い、総トン数の1トンはおおよそ2.83立方メートルと考えてよいでしょう。

排水量は、船が押し出している(排水している)液体の総重量で、船自体の重さを示し、載貨重量(記号：DW)は、その船が積むことのできる貨物の総重量のことで、排水量も載貨重量も単位は重さの単位「トン」で表されます。

排水量は、軍艦のように積荷によって船の総重量がほとんど変化しない船の大きさを表すのに適し、載貨重量は、貨物船のように積載能力が問われる船の大きさをあらわすのに適しています。



お知らせ

来年4月から消費税の制度が改正されます!!

主な改正点は次のとおりですが、今回の改正により、これまで免税業者だったJFや漁業者個人にも納税の義務が発生するケースが考えられます。

- ①免税となる課税売上高の上限が、これまでの3,000万円から1,000万円に引き下げられます。
- ②簡易課税制度を適用することが出来る課税売上高の上限がこれまでの2億円から5,000万円に引き下げられます。
- ③中間申告の申告、納付回数^が改正されます。
- ④課税業者が消費者等に対して商品等の販売、役務提供等を行う場合の価格表示の消費税額を含めた総額表示が義務付けられます。

今回の消費税改正に対応すべく、JF兵庫漁連では、次のとおり『会計・税務に関する研修会』の開催を計画しておりますので、多数のご参加をお待ちしております。

と き：平成15年12月2日(火) 10:30～
ところ：兵庫県立水産会館 4階大会議室

研修項目：①消費税の改正について
②法人税等の改正について
③その他(会計基準等について)

講師：森田茂伸税理士事務所
所長 森田 茂伸 氏



行事予定 <変更になる場合があります>

JF兵庫漁連

11月 21日(金)	10:30~ 全漁連第5回理事会 13:30~ 漁協運動功労者表彰式 (虎ノ門パストラル)
26日(水)	10:30~ 温排水調査委員会 (水産会館)
12月 2日(火)	10:30~ 会計税務に関する研修会 (水産会館)

JF兵庫信漁連

11月 14日(金)	11:00~ 農中総代懇談会 (ホテルオークラ)
28日(金)	13:00~ 理事会(水産会館)

JF共水連兵庫

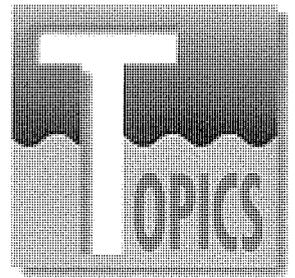
11月 14日(金)	13:00~ 運営委員会(水産会館)
---------------	-----------------------

内海漁保

11月 12日(水) ~14日(金)	推進のつどい(東京)
15日(土)	産業会館ソフトボール大会
27日(木) ~28日(金)	10:30~ 漁船保険システム担当者 研修会(東京)
12月 9日(火)	PM~ 理事会

但馬漁保

11月 12日(水) ~14日(金)	推進のつどい(東京)
21日(金) ~23日(日)	互助会旅行
25日(火) ~26日(水)	漁船保険友の会 (神戸)
27日(木) ~28日(金)	10:30~ 漁船保険システム担当者 研修会(東京)



振興基金

11月 19日(水)	13:30~ 理事会(水産会館)
---------------	---------------------

兵庫県

11月 17日(月)	10:30~ 常任委員会
18日(火)	13:30~ 但馬海区漁調委 (但馬漁業センター)
12月 8日(月)	兵庫県水産賞表彰式 (県公館)

その他

11月 22日(土)	17:00~ 播磨漁友会・淡路水交会 交流会(明石)
---------------	----------------------------------

各地のおもなイベント情報

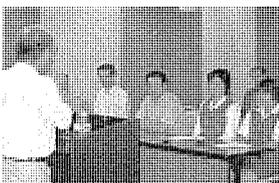
11月15日(土) ~16日(日)	但馬まるごと感動市 10:00~ ◆場 所: 但馬空港 ◆問い合わせ: 但馬県民局商工課 0796-26-3685
11月24日 (月・祝)	~丹波 市島町~ Mr.マリック超魔術! 昼の部 15:30開演/夜の部 18:30開演 ◆場 所: ライフピアいちじま大ホール ◆問い合わせ: 市島町公民館 0795-85-3030
12月7日(日)	第21回 かすみカニ場まつり ◆問い合わせ: 香住町観光協会 0796-36-1234
12月14日(日)	たけのカニカニカーニバル ◆問い合わせ: 竹野町観光協会 0796-47-1080

JF兵庫信漁連 但馬地区5支店の統括化がスタート

JF兵庫信漁連では、10月1日より但馬地区5支店の統括化をスタートさせました。9月27日ファミリーイン今子浦(香住町)において、但馬地区組合長、但馬水産事務所長、県漁連但馬支所長等を招き、「但馬地区統括支店開設記念式典」が執り行われました。また、職員の辞令交付等の式典後、職員執務心得・コンプライアンス概論・職場におけるコミュニケーション等についての研修会が行われました。新体制となり、今後ますますの漁業者の経済を支える組織としての期待が高まります。

但馬統括支店職員

組合より転籍	15名
人事異動	3名
出向	5名
嘱託・パート	2名
新規採用(嘱託)	2名
計	27名



但馬統括支店職員配置図

但馬統括支店				
支店長 寺田 茂義				
津居山支店	柴山港支店	香住支店<貯金>	香住加工支店	浜坂町支店
支店長 若狭 譲	支店長 寺川 文雄	次長 山下 光弘	支店長 宮本 泰男	支店長 小谷 秀雄
代理 脇 紀章	代理 柳本美代子	代理 藤原喜代美	代理 川田 昭彦	代理 吉野 一彦
栄元 佳子	西上 文子	西垣 克人	中村 昭子	代理 山本 洋治
	(パート) 橋下 和美	磯田 建郎	安田 純子	熊本加代子
		北村 直子	西川佳代子	中木恵美子
本店		<融資>	清水 明	奥田いずみ
営業部次長 寺川 充		代理 松井 恭二		
		代理 亀村 和美		

「ふれあい田んぼ教室」を開催

JAグループJA全中では、過日JA丹波ささやま(丹波ささやま農業協同組合)の管内において、都市部住民が自分たちで田植え、稲刈りを行う「ふれあい田んぼ教室」が開かれ、2日間で約300名が参加しました。

この催しは、稲作が果たしているさまざまな役割・意義・重要性などの理解を深めてもらうとともに、次世代を担う子どもたちに対して、農業体験を通して、農業・農村の果たしている役割を正しく理解してもらうことを目的としています。また、稲作体験を年間通して学んでもらうため、参加者は、春と秋をセットとして参加者を募りました。

5月に田植えをしたフクヒカリの稲刈り・束ね・はざかけの作業を行いました。その後の昼食では、地元産米を使用した弁当、黒大豆味噌を使った味噌汁、篠山牛の焼肉などの料理が振舞われました。

参加者からは「篠山のお米やお肉は美味しいですね。稲刈りは疲れたけれど、これで元気になりました」との感想が述べられました。午後からは、脱穀、もみすり、精米、稲わら細工などの体験も行いました。

JAグループでは、米の消費拡大促進のため、今後とも米を中心とした料理教室などの行事を行うこととしています。



初めての稲刈りに挑戦。楽しい一日でした。

<http://www.zenchu-ja.org/>

2003年度 兵庫県生協大会を開催

10月15日(水)、兵庫県民会館9階ホールにおいて2003年度兵庫県生協大会を開催し、県下生協の組合員、役員など約370名がとどきました。

まず、第一部の記念式典では、宮内明彌会長理事が開催あいさつをおこない、続いて、兵庫県副知事・藤本和弘氏、神戸市長・矢田立郎氏(代読 大森伸一神戸市生活文化観光局次長)より、それぞれ生協への期待をこめられたご祝辞をいただきました。

その後、生協功労者表彰に移り、永年生協の発展に寄与した4名の役員に「兵庫県知事感謝」が、また生協業務に精励した25名の役職員に「兵庫県生活協同組合連合会会長表彰」が贈られました。また、今年は、生協法施行55周年にあたり、神戸医療生協、尼崎医療生協、兵庫県民共済生協の3団体が「生協法施行55周年記念・知事表彰」を受賞し、それぞれに表彰状ならびに記念品が贈呈されました。

第二部では、「程さんの食と健康」をテーマに料理研究家・程一彦さんを講師に記念講演をおこないました。毎朝しっかり朝食をとることや、しっかり噛んで食べること等、食生活のお話から、具体的な食材の成分の話まで、ユニークな事例を交えながらお話いただき、時には会場の皆さんの席まで足を運んで、直接質問を投げかけたりする場面もあり、参加者と一体となった講演に熱心にメモを取る姿も見受けられました。

また、会場ロビーでは、今年も、地域生協・大学生協・医療生協共済生協など分野ごとに生協紹介コーナーを設置し、パネルやポスターでさまざまな取り組み活動を紹介しました。医療生協による健康チェックでは、血管年齢測定、血圧測定・体脂肪測定・骨密度検査を実施、ロビーには多くの参加者が列をつくり、測定結果に一喜一憂しながらも健康アドバイスに熱心に耳を傾けていました。



<http://www.co-op.or.jp/jccu/>

この海です

毎週日曜日 12:00~放映中

美しい夕日を見に行きました 淡路のウェストコースト

<兵庫県・淡路島一宮町/西淡町より>

11月16日(日)放送

環境省の「かおり風景100選」に選ばれた、淡路島の一宮町は全国の7割を生産するという線香の町です。昔の線香乾燥場のベカコ(開閉式の木の壁)等の残る風景が「香り風景100選」の対象になったそうです。線香づくりも機械化され、今では歩けば香りがどこにも漂ってくる風景も少なくなりました。しかし、最近では一宮町の地場産業の線香と西淡町の地場産業が一つとなり完成させた、機関車の形をした「SL香炉」や線香に備長炭の木酢液を配合した消臭効果や抗菌効果を持たせた志向を凝らした線香も登場しています。

また、一宮町は淡路を「海のある国うれしさよ初日出」と詠んだ、明治に生まれ大正・昭和期に俳壇の龍児といわれ活躍した「高田 蝶衣」の終焉の地でもあります。そして、夕日のサイドプラザ・多賀海浜公園も完成しています。

今回は国生み神話のイザナギ神宮にちなんで、カップルや夫婦が訪ねる名所コース「夫婦(いもせ)巡りコース」等ユニークな観光コースもある一宮町を中心に、播磨灘の向こうに沈む夕日の美しい町、淡路のウェストコーストをゆっくりと楽しみます。

※「かおり風景」100選とは

環境省では、豊かなかおりとその源となる自然や文化・生活を一体として将来に残し、伝えていくため、「かおり風景」を全国から募集し、香り・匂いの専門家や文化・ライフスタイルの専門家からなる「かおり風景100選選定委員会」を開き、応募の中から、選考委員が実際に現地を訪れるなどして選び、特に優れた「かおり風景」として100地点を選定したものです。環境省では、こうした試みが、香りのある自然や文化・生活に根ざした質の高い環境づくりに地域で一層取り組むきっかけになればと考えています。

11月23日放送予定

「海に生きるベテラン漁師三人衆」(仮題)
<和歌山県白浜町>

おたのしみ!

編/集/後/記

篠山へ黒豆を採りに出かけた。

空気がおいしくて、いい気分。

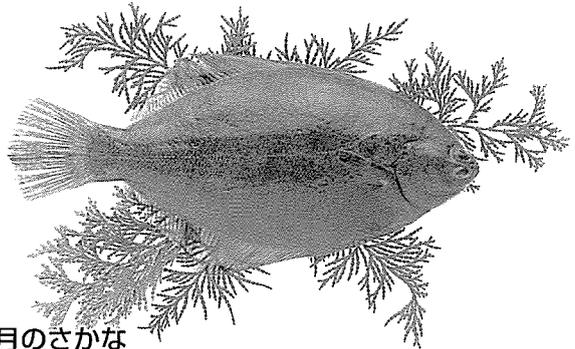
その場でゆがき、青空の下で食べると最高!

家族連れやグループで、常連の方も多そう。

採る際には、へびにご注意を。



ポイントに知ってる? こっそり覚えよう! 兵庫のさかな



今月のさかな

カレイ

標準和名: アカカレイ
分類: カレイ目カレイ科

マガレイ、イシガレイ、ヤマガレイ…。世界に約百種類いるといわれるカレイ。日本近海だけでも四十種類以上が棲息しています。当然、種類によっても異なりますが、秋から冬にかけて、兵庫県の日本海側で旬を迎えるのが「アカカレイ」です。名前の通り、体の裏側は全体に赤みがかかっています。この赤味が強いほど鮮度がよいとされます。体長十五センチくらいまでは、水深二百メートル前後で生活します。成長すると、水深五百メートルあたりまで生活の範囲を広げます。二〜四月になると産卵のため、再び水深二百メートル前後の浅い水域に集まってきます。体長は、通常四十センチ前後ですが、大きいものは五十センチほどになります。寿命ははっきり分かっていませんが、雄で九年くらい、雌は十年以上といわれています。優しい顔つきのカレイが多い中

で、アカカレイは口が大きく鋭い歯を持ち、精かな顔が特徴です。普段は、海底の砂の中に体を隠し、目だけを出しています。さらに、周りに合わせて体を茶褐色に変え、エサをおびき寄せます。まるで、海の中の忍者のようで、よく注意しないと見つけれません。生臭さがなく、骨と身が離れやすいため、子どもやお年寄りでも食べやすい魚です。肉質は柔らかく、タンパク質は豊富ですが脂肪が少なく、病人食や離乳食さらにはダイエット食にぴったりです。珍味とされる「エンガワ」にはコラーゲンがたっぷりです。お肌の若返りを助けます。さらに神経系統を調整する「ビタミンB1」も多く含まれています。新鮮なものは刺身にしても美味しかったです。煮付け、塩焼き、唐揚げなど、様々な調理に適しています。イラ

イラとストレスの多い毎日を過ごす現代人には、ビタミンB1が欠かせません。カレイを意識して食べることで、精神を健康な状態に保つよう心がけたいですね。ところで、カレイとヒラメの違いをご存じですか? 二部例外もありますが、『左ヒラメの右カレイ』の言葉通り、おなかを手前にした時、目が体の右にあるのが「カレイ」、左にあるのが「ヒラメ」というのが一般的な見分け方です。しかし、どちらも産まれた時には他の魚同様、目は体の左右についています。それが、生後四十日頃から移動し始め、やがて体の片側に移ってしまうのだとか。これからの季節、カレイの旬のおいしさとともに、他の魚にはない両目が右側に寄った独特の風貌も楽しんでみてはいかがでしょうか。

魚と言えば
明石…

その魅力を裏打ちする 3つの理由に迫る!



No.07

JF明石浦



屋網、魚の棚、明石鯛、明石ダコ。魚にまつわるいくつもの言葉が象徴するように明石は魚の宝庫です。おいしく活きのいい魚を求めて、明石へ足を運ばれる方も多いことでしょう。では、魚と言えば明石と誰もが思い浮かべるほどの魅力は、一体どこから産まれたのでしょうか？ それには3つの理由があるのです。

明石は大阪湾と播磨灘の中間に位置します。このためその両方の漁業権を持つことが強みです。広域な漁場ではありとあらゆる魚が獲れます。その数ざっと100種類以上。この圧倒的に豊富な魚種が理由その1です。

理由その2は地の利。大阪、神戸、京都という大消費地を控え、短時間で輸送が可能です。12時に競りに出された魚は、夕方には店頭に並び、料亭の調理場でさばかれることとなります。魚の活きの良さが更に明石の名前を高めるのです。

理由その3こそが明石の真骨頂。明石の漁師は獲ってきた魚を放り投げることは絶対にしません。一旦手に持ち、静かに水槽に入れ、魚を水の中で自然に泳がせるなど丁寧に扱います。単に魚を傷つけないためだけではなく、魚は人間と同じで、放り投げられるとストレスを感じます。興奮した魚は体中に血がめぐり、身が赤くなります。その上、海で食べた餌は消化されず、胃の中に残されます。このような魚は血の臭いが強く、おいしくありません。一方、一旦水槽の中で休ませた魚は、ストレスを感じる事がなく、身から血が抜け透明感が出ます。種類によっては真っ暗な水槽の中で半日~1日寝かすこともあります。すると海で食べた餌を吐き出し、胃が空になるため臭いは消え、魚本来の味わいが楽しめるのです。伝統的に受け継がれてきたこの魚の扱いこそが、明石の魚を

世に知らしめたといっても過言ではないでしょう。

このように魚への情熱あふれる明石浦漁業協同組合ですから、その競りは人と魚の多さと威勢の良さで活気に満ちています。昭和53年から競りを始め、組合員が獲ってきた魚はすべてこの競りを通されます。単なるシステムとしての競りではなく、漁協には外販部があり、競りに出される魚の3~4割を買い取って販売しています。漁協が競りの買頭というわけです。このため、ある程度の価格調整が可能で、魚の値くすれを防ぐ役割も担っているのです。

競りの様子をのぞいてみると、女性の姿が目につきます。きちんと化粧し、色とりどりのカッパに身を包み、旦那さんが獲ってきた魚を扱う姿はとて華やかです。あらゆる種類の魚があがり、大きさも傷み具合もバラバラの魚をしっかり仕分けすることができるのは、女性ならではの細やかさがあってこそ。大きさを巧みに揃え、傷んだ魚を売らない女性の心意気が、明石の魚と競りを根底で支えているのです。

女性に負けじと、漁協でも新しいことにチャレンジしています。そのひとつがパソコンへの取り組みです。現場重視の漁業の世界では、デジタル化が遅れがちです。そんな中、ホームページをいち早く立ち上げ、消費者への情報提供、全国からの問い合わせや取材などに役立てています。また、のりの情報等をメールで組合員宅に一斉送信する試みも取り入れ、漁師の皆さんに好評です。伝統技術を大切にしながらも、チャレンジを忘れず、明石というブランドに恥じない漁協を目指していきます。



<漁協メモ>

明石浦漁業協同組合
代表理事組合長 小松 司
組合設立日：昭和24年10月1日
組合員数：正組合員358名、准組合員0名/計358名
漁獲数量：1,687トン



招 TAKUSUI
11 November

JF 発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会
(財)兵庫県水産振興基金

〒652-0844 神戸市兵庫区中之島2-2-1 TEL 078-652-3445 FAX 078-671-6685